

## Video 02

Video02 では名詞の姓と複数形、冠詞の 1 格と 4 格を復習しながら、wir と Sie に対する命令形及び 4 格と結びつく前置詞 in について学びます。ドイツ語の名詞には男性・中性・女性という文法上の性の区別があり、性をはっきり示すのは 1 格（主格）の定冠詞（英 the）です。男性の定冠詞は **der**、中性は **das**、女性は **die** です。複数形では性の区別はなく、複数の定冠詞は **die** です。不定冠詞（英 a/an）は男性と中性が両方とも **ein**、女性は **eine** になります。単語表では、名詞は **die Frau -en** のように表記されます。つまり、**Frau**「女性、妻」は女性名詞なので、その定冠詞は **die** で、その複数形は **Frauen**であることを表します。名詞は必ず**定冠詞と複数形をセットにして**覚えなければなりません。4 格（直接目的格）の冠詞は、中性・女性・複数では 1 格と同じですが、男性 4 格の定冠詞は **den**、不定冠詞は **einen** になります。

	男性	中性	女性	複数
1 格	<b>der</b> ... <b>ein</b> ...	<b>das</b> ...	<b>die</b> ...	<b>die</b> ...
4 格	<b>den</b> ... <b>einen</b> ...	<b>ein</b> ...	<b>eine</b> ...	...

敬称 2 人称 Sie に対する命令形は „Sprechen Sie Deutsch!“ 「ドイツ語を話して下さい」、wir に対する命令形は „Sprechen wir Deutsch!“ 「ドイツ語を話しましょう」のように主語を動詞の後に置いて作ります。Sie/wir に対する命令文は疑問文と同じ語順「動詞＋主語」でイントネーションのみが異なります。なお、命令文に副詞 **doch**「ぜひ」を入れると、„Sprechen Sie **doch** Deutsch!“ 「ぜひともドイツ語を話して下さい」や「ドイツ語を話したらどうですか」のように「**推薦**」になります。前置詞 in＋地名は „Fukuoka liegt in Japan.“ や „Sie arbeitet in Frankfurt.“ のように状態・動作の場所を表しますが、in＋4 格は „Ich gehe in **den** Zoo.“ 「その動物園に行く」のように人が移動して行く方向を表します。

Frau ...	《女性の姓の前につけて》...さん
die Frau -en	女性、妻
müde	【形】疲れて眠い
machen	する
die Pause -n	休憩
gehen	行く
doch	【副】《命令文で》ぜひとも
kurz	【形】短い
in	【前】1. （＋4 格）英：into, to, 2. （＋地名）英：in
die Kantine -n	社員食堂
allein	【形】一人で
weiter	《動詞を補足して》続けて
Frau Wolf, ich bin müde. Machen wir eine Pause!	ヴォルフさん、私は疲れたわ。一休みしましょうよ。
Gehen Sie doch kurz in die Kantine!	ちょっと社員食堂に行ってきたらどうですか。
Ich arbeite allein weiter.	私は一人で仕事を続けますから。
Herr ...	《男性の姓の前につけて》...さん
der Herr -en	紳士、主人
der Kaffee -s	コーヒー

<b>kalt</b>	【形】寒い、冷たい
<b>heiß</b>	【形】熱い、暑い
<b>die Milch</b>	ミルク、牛乳
<b>leider</b>	【副】残念ながら
<b>sauer</b>	【形】酸っぱい
<b>entschuldigen</b>	許す
<b>vielmals</b>	【副】重ね重ね、くれぐれも
Herr Schmitt, der Kaffee ist kalt.	シュミットさん、このコーヒーは冷めているわよ。
Wie ist der Kaffee?	そのコーヒーがどうしましたか？
Er ist kalt.	冷めているのよ。
Oh, Entschuldigung!	あつ、申し訳ありません。
Herr Schmitt, der Kaffee ist jetzt heiß,	シュミットさん、今度はコーヒーは熱いのだけれど、
aber die Milch ist leider sauer.	残念ながらこのミルクは酸っぱくなっているのよ。
Entschuldigen Sie oftmals!	重ね重ね申し訳ありません。

## 名詞の性と人称代名詞

名詞の代わりに人称代名詞を使う時には、人・物事を問わず、男性名詞の場合は **er**、中性の場合は **es**、女性・複数の場合は **sie** を使います。

Wie ist <b>der</b> Kaffee? - <b>Er</b> ist heiß.	そのコーヒーはどうですか？ - 熱いです。
Wie ist <b>das</b> Café? - <b>Es</b> ist etwas teuer.	その喫茶店はどうですか？ - 少し高いです。
Wie ist <b>die</b> Milch? - <b>Sie</b> ist leider sauer.	そのミルクはどうですか？ - 残念ながら酸っぱいです。
Wie sind <b>die</b> Pausen? - <b>Sie</b> sind kurz.	それらの休憩はどうですか？ - 短いです。

## Sie と wir に対する命令形

敬称 2 人称 Sie に対する命令形は „Gehen Sie in die Kantine!“ 「社員食堂に行って下さい」、wir に対する命令形は „Machen wir eine Pause!“ 「一休みしましょう」のように主語を動詞の後に置いて作ります。Sie/wir に対する命令文は疑問文と同じ語順「動詞＋主語」でイントネーションのみが異なります。なお、命令文に副詞 **doch** 「ぜひ」を入れると、„Gehen Sie **doch** in die Kantine!“ 「ぜひとも社員食堂に行って下さい」や「社員食堂に行ったらどうですか」のように「**推薦**」になります。ちなみに、du/ihr に対する命令形もありますが、それは Video05/06 で学習します。